

第4学年 社会科学学習指導案

場 所 4 年 教 室

指 導 者 岡 弘 明

1 単 元 火事から津具をまもろう —津具で火事が起こらないために—

2 単元について

(1) 児童の実態 (男子2名 女子3名 計5名)



男女の仲はよく、子ども同士の雰囲気もよい。社会の授業では、課題を解決しようという意識が高い。都道府県の学習では、子どもがそれぞれつくった地図カードを日本地図のように模造紙に貼るとき、分かりやすくするために、模造紙を広げて大きくするなどの工夫が見られた。ごみの学習では、収集所やクリーンセンターを見学して、「分別をすることの大切さ」や「働いている人の苦勞」を知り、学習したことを地域の人々に発信して伝えたいという思いをいただき、チラシ作りに取り組んだ。そして、作ったものを、地域に回覧したり、ポスターとして掲示したりし、達成感を味わうことができた。

「火事についてのイメージ」に関する事前アンケート(9月調査)からは、「建物が燃える」、「黒こげ」、「大震災」、「消防車」、「救急車」などの言葉が出てきた。しかし、これらの関連や火事の通報と関連機関の動きについてはとらえてないことが読み取れた。そこで本単元では、かつての地域の大火に視点を当て、火事が起こったときの対応や予防に対する意識を高めていきたい。

(2) 教師の願い



4年生の子どもたちは、分からないことを知ろうとする気持ちが強く、互いに意見を伝え合い、助け合いながら、全員でやり遂げようという姿が見られる。学習を達成すると、満足した表情を見ることができる。

事前アンケートを見ると、消防車などの消火に関わるもの、火事によってどうなるかなどのキーワードが出てきたことから、火事についてまったく知識がないわけではないことが分かった。このことと教師による手だてによって、子どもたち自身が課題を見つけ出し、出しているのではないかと考えた

また、子ども達は、課題が提示されると、その解決に向けて学習に取り組んでいくことができる。このような子どもたちが、教材から調べたいことを見つけ、そのテーマを追究していき、学んだことをまとめる力をさらに高めさせたいと考えた。

3 単元の目標

- ・1957年の上津具の火事を経験している講師の話を実地で聞いたり、地域の分遣所や消防団の見学をしたりしたことを、新聞にして保護者や他学年に発信することにより、津具の火事から人々の安全を守る工夫に関心をもつことができる。

【関心・意欲・態度】

- ・上津具の大火の様子聞き取りから、課題をつくり、資料調べや分遣所などの見学から、地域における安全な暮らしを守る機関の連携や地域の人々とのかかわりをとらえ、図表などにまとめることができる。

【思考・判断・表現】

- ・地域の火事をもとに、身近な消防施設や機関の特徴やかかわり、予防や消火の様子、消防についての資料調べや、消防に関する見学や聞き取りから、火事から地域を守る活動を調べることができる。

【資料活用の技能】

- ・分遣所や消防団の見学を通して、地域の防災についての思いや願いをとらえ、いろいろな機関や人々が互いに連絡を取り合い、連携をして火事を防いでいることをとらえることができる。

【知識・理解】

4 単元構成 (20時間完了 本時⑥/20)

段階	学習活動	子どもの反応	留意点
つかむ	<p>写真を見て、気づいたことを発表しよう。 ①②</p>		
	<p>・水で土がドロドロのところがある。 ・奥の方は家が残っている。 ・電線がなくなっている。 ・なぜ火事があったのかな。→火の不始末だと思う。 ・なぜ奥の方は家が残ってるのかな。 ・気づきを発言させた後、昔の写真が津具であることを伝え、現在の写真を示す。 ・火事のことから疑問に思ったことを書かせ、答えの予想をさせ、知る方法を考えさせる。 ・現時点での大火の印象を、具体的に書かせる (例: 広いはんに焼きつくした火事)</p>		
	<p>現地で講師の人の話を聞き、上津具の大火を知ろう。 ③④</p> <p>・火事が起きると、生活に必要な物がすべて焼けてしまい、その後の生活がたいへんなことが分かった。 ・火事によって、上空で風が起り、火が広がっていったことが分かりました。 ・現在と大火事時の住宅地図を用意し、比較させながら、聞き取りを行う。</p>		
	<p>講師の先生の話聞いて分かったことをまとめ、疑問を出し合って課題をつくらう。 ⑤⑥ (本時)</p> <p>・多くの家が燃えてしまったんだね。 ・火が回るのって早いんだね。 ・消防団はあったんだね。 ・今、火事があったらどうするのかな。 ・分かったことを発言させ、板書をグループ化させ、それを見て、感想を書かせる。 ・感想から現在につながる疑問を考えさせ、その疑問の答えを考え、分からないことから課題を作らせる。</p>		
深める	<p>「分遣所や消防団はどうやって火を早く消しているのだろうか」を考えよう。 ⑦</p>		
	<p>〈予想〉・取水場のように、携帯のアラームがなるようになっていて、すぐに火事の場所に行けるようになっていないか。 ・協力して消しているのではないか。 ・予想を確かめる方法を挙げさせ、家で聞いてみるなど、できることは分担して行わせる。</p>		
	<p>分遣所がどうやって火を早く消しているか、郷土したらを使って、調べてみよう。 ⑧⑨</p> <p>〈消防署〉・火を早く消すために、指れいセンターから各機関に連絡が入る。 ・分遣所には常に2人署員がいて、訓練を行っている。 ・調べても分からなかったことや新たに調べてみたいことを出させる。 ・津具分遣所は2人で早く火が消せるのかな。 ・どんな気持ちで訓練をしているのかな。</p>		
	<p>分遣所がどうやって火を早く消しているか、調査しに行こう ⑩⑪⑫</p> <p>・自分の身を守るために重たい服を着て、着るために訓練をしているんだね。 ・消防団も同じように訓練しているのかな。 ・消防団にはどうやって火事の連絡が入るのかな。 ・疑問点について、聞き取りを行わせる。 ・取り組みへの思いを話してもらう。 ・分かったことをまとめ、消防団や各機関の連携などの疑問を整理させる。</p>		
まとめる	<p>消防団がどうやって火を早く消しているか、郷土したらを使って調べてみよう。 ⑬⑭</p> <p>・きんきゅうじたいにそなえて、訓練や点検をしている。 ・すぐに出動できるように、どうほう無線に気をつけている。 ・調べてもわからなかったことや新たに調べてみたいことを出させる。 ・消防団は何人いるのかな。 ・どんなことが大変なのかな。</p>		
	<p>消防団がどうやって火を早く消しているか、調査しに行こう。 ⑮⑯⑰</p> <p>・今では、メールで出動の連絡が来るように工夫してあるんだね。 ・地域のために、訓練や点検をしているんだね。 ・地域の人が、地域の安全を守ることの大切さを話してもらう。 ・分遣所や各関連機関が協力をし、防火につとめているので大丈夫であることを確認する。</p>		
	<p>もう二度と津具で大きな火事を起こさないために、わたしたちにできることを話し合おう。 ⑱</p> <p>・大火で大変だったことを伝えよう。 ・分遣所や消防団の努力や工夫を伝えよう。 ・大火から、道が広がったことや防火水槽ができたことを伝えよう。 みんなに伝えよう。 ⑲⑳</p> <p>・大火、そのことからの防災、分遣所や消防団の努力や工夫や思いをまとめさせる。 ・学習したことを整理させ、防災新聞をつくり、みんなに伝える方法を考えさせる。 ・広報したらに載せてもらえるように依頼する。</p>		

5 本時の指導（6 / 22）

(1) 目標

○上津具の大火の学習から出てきた現在につながる疑問を項目ごとに整理し、今後の学習の課題をつくることができる。(思考・判断・表現)

○課題設定に向けて、まとめた疑問のポイントをつかみ、自分の考えを出すことができる。
(関心・意欲・態度)

(2) 準備

(教師) ふせん、マジック、カード(画用紙)、津具地区の火事の件数のグラフ

(児童) 筆記用具(名前ペン)、社会ファイル

(3) 過程(別紙)

(4) 評価

評価内容	評価基準	
	A	B
上津具の大火の学習から出てきた現在につながる疑問を項目ごとに整理し、今後の学習の課題をつくること ができる。	整理した疑問を見て、現在のことに着目し、消防署や消防団についての発言をすることができる。	疑問を項目ごとに整理し、気づいたことを発言することができる。
まとめた疑問のポイントをつかみ、整理し、自分の考えを出すことができる。	まとめた疑問のポイントをつかみ、整理し、積極的に考えを出すことができる。	まとめた疑問を見て、調べてみたいことを考えることができる。

反省

ご指導

(3) 過程

段階	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 学習活動 子どもの反応 「発問、指示」 </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">つながる場面</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ・留意点 ★道徳的価値 評価 </div>
つかむ3分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>前時で出した、疑問をカードに書こう。</p> <p>「講師の先生の話や話をまとめた後に出てきた、疑問や心配なことを、カードに書いてみよう。」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で出した疑問や心配を、ふせんに書かせる。
<p>深める</p> <p>27分</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「疑問や心配を出し合おう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ふせんを、グループ分けしてB紙に貼る。</div> <p>「まとめた疑問の答えを考え、分かるもの、予想のつくものはカードに書いて、貼っていきよう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">出た疑問や心配の答えを考える。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>今、火事が起きても、燃えうつる可能性は低いのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道が広くなったから大丈夫。 ・消火栓や防火水槽があるから大丈夫。 ・消防署や消防団が消してくれ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>もし、火事が起こったらどうしようか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逃げる。 ・消火栓を使う。 ・消防署や消防団が来て、火を消してくれる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>なぜ、大火事が起こった年だけ、火事が多いのか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>なぜ、かみなりが落ちて、火事になったのか。</p> <p>家のものに燃えうつったから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>火事が起こらないように、気をつけているか心配。</p> <p>なぜ、燃えやすい木の家が多かったのかな。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・似ている内容をまとめようとしていない場合は、これまでの学習方法をたずね、まとまりを作って貼ることを想起させる。 ・子どもたちの中で、話し合いを行わせ、答えが出たものはふせんに書いて貼らせていく。 ・「津具地区の火事の件数」のグラフを用意し、大火以降も火事が起こっていることを伝える。 ・講師の話振り返らせ、近年大火が起こってないことを思い出させる ・沈黙が続いたら、「燃えうつる可能性」と「火事が起こったらどうするか」に着目させる。(「消防署・消防団」が出るように) ・更に疑問が出てきたときはつけてしていく。 <p>★友だちの意見を真剣に聞き、ともに答えを考えようとする事ができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>出てきた疑問を整理し、答えを考えることができる。</p> <p style="text-align: right;">(発言・カード)</p> </div>
<p>まとめる</p> <p>15分</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「出てきた疑問をまとめて、整理して、課題をつくらう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>現在につながる疑問をまとめて、課題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署や消防団があるから、火事が起きても消してくれるよ。 ・火事が起こらないように気をつけていることはあるの。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署や消防団は、早く火を消すためにどのようにしているか。 ・火事を起こさないためにしていることはあるのか。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>本時の感想を書こう。</p> <p>「本時の感想を書きましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署や消防団の取り組みを調べていきたいです。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「今、火事が起きても、燃えうつる可能性は低いのか。」に着目させ、消防署・消防団の人数などに触れ、早く消している方法に考えを向けさせる。 ・単元名を意識させ、防火活動と消火活動の課題をつくらせる。 ・場合によっては、「津具地区の火事の件数」のグラフや講師の話(近年、大火が起きていない)こと思い出させ、大火が起きていない理由を考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>現在の疑問に着目し、自分の考えを出して、課題をつくる事ができる。</p> <p style="text-align: right;">(発言・ふせん)</p> </div>